

まちの図書館だより

2018.4月 No.1 (高学年)



～こどもの読書週間～ おすすめの本

カッコいい武将や、妖怪に神様！日本の「むかし」には魅力がいっぱい。歴史に登場する人物や神話、それをもとにしたお話などの本を、ご紹介しします。

	タイトル	作者	出版社	請求記号
1	信玄と謙信 (学研まんが NEW 日本の伝記)	田代 脩 / 監修 田中 顕 / まんが	学研プラス	28 ガ
2	西郷 隆盛 (ミネルヴァ日本歴史人物伝)	大石 学 / 監修 西本 鶏介 / 文	ミネルヴァ書房	28 ミ
3	絵物語 古事記	富安 陽子 / 文	偕成社	91 エ
4	ぼくらの妖怪封じ	香西 美保 / 作	岩崎書店	91 カ
5	瀬戸内海賊物語	黒田 晶 / 作 大森 研一 / 原案	静山社	91 ク
6	異界から落ち来る者あり (上・下) (大江戸妖怪かわら版シリーズ)	香月 ひのわ / 作	理論社	91 コ 1

「つくも神」

伊藤 遊 / 作
ポプラ社 (91 イ)

“つくも神” というのは、長く人に大事にされた道具に魂が宿ったもの。主人公のほのかの周りでは、このところ奇妙な事件ばかり起きる。その犯人は…。



「仮名手本忠臣蔵」

(ストーリーで楽しむ日本の古典)

石崎 洋司 / 作
岩崎書店 (91 イ)

無念の死をとげた主人の敵を討つ！
47人のサムライの作戦とは!?



「空色勾玉」

荻原 規子 / 作
福武書店 (91 才)

文章は難しいのですが、ファンタジーが好きな人におすすめ。舞台は古代の日本。主人公の狭也は、やがて国を分ける光と闇の戦いに巻き込まれてゆく。

